

○水生生物モニタリング調査結果一覧（阿武隈川河口沖K）

＜阿武隈川河口沖K 水質底質採取項目＞

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
K-3	○	○	○	○	○	○

＜阿武隈川河口沖K 現場測定項目＞

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)		
K-3 (表層)	38. 0458°	140. 9518°	R2. 8. 26	13:40	13:55	27. 8	19. 4	砂混シルト	5Y 3/2	なし	20. 8	10. 0		
K-3 (下層)				13:23		19. 4								

＜阿武隈川河口沖K 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
K-3 (表層)	38. 0458°	140. 9518°	R2. 8. 26	13:40	8. 0	1. 0	3. 0	7. 0	4600	29. 91	1. 6	1	0. 9	N. D. (0. 0015)	0. 0021	—
K-3 (下層)				13:23	7. 9	0. 6	1. 8	7. 8	5020	33. 02	1. 1	1	0. 7	N. D. (0. 0017)	0. 0030	0. 00070

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜阿武隈川河口沖K 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0. 85~2mm) (%)	中砂 (0. 25~0. 85mm) (%)	細砂 (0. 075~0. 25mm) (%)	シルト (0. 005~0. 075mm) (%)	粘土 (0. 005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
K-3	38. 0458°	140. 9518°	R2. 8. 26	13:55	7. 7	246	31. 8	4. 0	7. 3	2. 703	0. 0	0. 0	0. 5	47. 0	40. 3	12. 2	0. 071	4. 8	6. 6	120	N. D. (0. 15)

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜阿武隈川河口沖K 分析項目 水生生物＞

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
阿武隈川河口 周辺海域	阿武隈川河口 前面海域	—	—	R2. 8. 7	脊椎動物	硬骨魚	スズキ	アジ	<i>Seriola quinqueradiata</i>	ブリ	2	2. 1	未成魚	不明消化物	内臓除去	0. 50	N. D. (0. 51)	0. 50	N. D. (0. 017)
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	サバ	<i>Scomber japonicus</i>	マサバ	7	2. 8	成魚	空胃	内臓除去	N. D.	N. D. (0. 36)	N. D. (0. 32)	N. D. (0. 016)
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ニハ	<i>Pennahia argentata</i>	シログチ	3	0. 53	成魚	空胃	内臓除去	0. 49	N. D. (0. 30)	0. 49	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。